

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	7806	(H.24)No.	7806
-----------	------	-----------	------

事務事業名	クリーンセンター費(経常分)		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
伊賀南部衛生組合事務局	業務室	酒井 隆郎	0595-53-1120
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2	美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし
	基本政策	2	循環型社会の創造
	施策	3	廃棄物処理
	小施策	1	ごみの適正処理
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分	事業コード	903401
伊賀南部環境衛生組合一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款 環境衛生費	クリーンセンター費	
項 清掃費	(小事業名)	
目 クリーンセンター費	クリ-ンセン-ター-費(経常分)	

3. 事務事業の概要

事業概要
<ul style="list-style-type: none"> 管内のごみを安全・適切に処理する。 可燃ごみの焼却及び不燃ごみの破砕処理、金属等有化物の回収。 ペットボトル・容器包装プラスチック等の資源物の再商品化に向けた中間処理。

めざす効果(事業目的)
<ul style="list-style-type: none"> クリーンセンターの適正な運転管理及び施設の維持管理に努めるとともに焼却に伴う周辺環境への影響を抑制するなど安心安全な施設運営をはかる。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)		平成24年度 (計画・作成時予算額)		現在の実施手法(複数選択可)		
					平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	平成27年度 (計画)
主な事業の実績・計画	[事業内容(事業量)・事業費] <H22 繰越分> ・クリーンセンター施工監理フォローアップ業務委託 1,744千円 ごみ処理業務 <主な処理経費> 消耗品費 8,571千円 燃料費 44,491千円 光熱水費 88,556千円 薬品費 7,771千円 運転管理業務委託 166,995千円 飛灰処理委託 29,732千円 焼却機器類保守点検委託 4,988千円 精密機能検査等委託 1,593千円 <H24 繰越明許繰越分> ・伊賀南部クリーンセンター精密機能検査業務委託 3,764千円		[事業内容(事業量)・事業費] ごみ処理業務 <主な処理経費> 消耗品費 9,000千円 燃料費 55,000千円 光熱水費 87,000千円 薬品費 10,149千円 運転管理業務委託 167,000千円 飛灰処理委託 32,055千円		市が直接実施 業務委託(全部・一部)により実施 指定管理 補助金・交付金 その他 ()		
直接事業費	(1,649千円)	374,548千円	518,252千円	674,163千円	684,163千円	684,163千円	
財源内訳(千円)							
国庫支出金							
県支出金							
地方債							
その他(処理手数料他)	122,003		104,680	98,000	98,000	98,000	
一般財源	(1,649)	252,545	413,572	576,163	586,163	586,163	
人工数							
職員	16.15人		17.15人	15.37人	14.37人	14.37人	
臨時職員等	2.30人		9.30人	4.30人	4.30人	1.30人	
概算人件費	(0千円)	121,805千円	141,005千円	119,511千円	112,211千円	107,111千円	
+ 総事業費	(1,649千円)	496,353千円	659,257千円	793,674千円	796,374千円	791,274千円	

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	容器包装プラスチック資源回収量	t	1,196	1,108	1,094	1,138
	実績						
成果指標	目標	・市内で発生する廃棄物が適正に処理されていると感じている市民の割合	%	69.4	72.3	76.2	78.1
	実績						
成果指標	目標	・ごみの減量化・再資源化に対する認識が高まったと感じたりサイクルプラザ利用者の割合	%	73.1	76.7	77.1	80.2
	実績						

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
・破碎ごみ投入装置の不具合はあったものの、不具合の原因調査に基づく恒久対策が行われて以降円滑な施設運営ができた。	・クリーンセンターの適正かつ円滑な運転管理及び施設の維持管理に努める。

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
・保障期間満了に伴う施設の引渡しが行われ、施設・機器の維持管理経費が増大する。	・必要性の高い事業であるが、施設の維持・修繕等に要する費用は厳しくチェックする必要がある。 ・事業費の精査を行い、必要性のある経費については明確に開示し、その都度補正予算で計上していくべきである。

8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢 ・ の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	・ごみの発生抑制に向けた啓発等
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	・再商品化の品質保持
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ない	
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映予定なし(該当しない)	
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む)

継続(現行)

「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

安定した運営を行うための適正な維持管理と業務の効率化の推進

特記事項